

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 31 日

事業名称		認可外保育施設利用者に対する補助事業費 [認可外保育施設利用者に対する補助金事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 2	児童福祉費	目 2	児童措置費	事業番号	4	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	保育		課		保育・幼稚園		係	課長名	関田 孝志
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	2 - 4		
【施策名】 児童福祉の推進						総合計画書 (ページ)	59		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)				
	認可保育施設が待機となっている0～2歳児の児童を認可外保育施設に預けた場合				→ 認可保育所等の入所が待機となった0～2歳の児童数				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)				
	保護者が支払う保育料の実質負担を軽減させることで、保護者の育児と仕事の両立を支援する。				→ 認可保育所等の入所が待機となり、認可外保育施設・認証保育所を利用している児童数				
指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)				
	認可保育所等の入所申請したが、入所待機となり、認可外保育施設または認証保育所を利用した場合に、その保護者に補助金を交付した。 ・対象年齢 0～2歳 ・補助金額は以下の合計額 保護者が支払った保育費用の3分の1(上限21,000円) 多子世帯支援として所定の補助額				→ 年度ない3回(4か月分ごと)補助金を保護者へ交付した				
3 経費	事業費(実績)		円	2,699,573	3,923,833	4,330,267	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	一般財源		円	1,350,573	2,094,833	1,724,267			
	特定財源		円	1,349,000	1,829,000	2,606,000			
	(うち受益者負担)		円	0	0	0			
	所要人数(再任用以外)		人	0.1	0.1	0.1			
所要人数(再任用)		人	0	0.0	0.0				
職員人件費(再任用以外)		円	825,300	824,400	831,000				
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	3,524,873	4,748,233	5,161,267				
4 環境変化等	(1) 開始年度 昭和49年度								
	(2) 環境の変化 認可外保育施設を利用している保護者に対して保育料の実質負担を軽減させるため、昭和49年度から事業を開始した。毎年度要綱である「東大和市保育室等利用者に対する保育費補助金交付要綱(平成29年度より「東大和市認可外保育施設利用者に対する補助金交付要綱」)」を制定し、事業を実施している。 認可外保育施設利用者だけでなく、認証保育所利用者も補助対象者となり、平成28年11月から事業が拡大した。								

事業名称	認可外保育施設利用者に対する補助事業費 [認可外保育施設利用者に対する補助金事業]			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田 孝志

5
市民等の意見

この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について

補助金を保護者に交付することで保育料の実質負担は軽減されているが、それでも保育料負担が重いと感じている保護者は多い。また、補助対象外の認可外保育施設を利用している保護者から不満の声があった。

6
市民協働

(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）

☐ 取り組んだ
☒ 取り組まない

取組手法：

【取組手法の種類】
①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成
⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）

(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7
課題

(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）

平成29年度と同様、認可外保育施設利用者を把握することが難しく、補助対象となる保護者全員に公平に周知することができない。

(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。

年度初めの市報で、本補助事業の周知を行った。
また、認可保育園が待機になった児童へ保育コンシェルジュが連絡を取った際に認可保育施設の利用状況等の聞き取りを行った。
認可保育園の申込み相談時に、補助事業について周知を行ったことで補助受け始めた保護者が増えた。

(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）

前年と同様、認可保育施設利用者の把握に努めると共に、本事業の周知を行う。

8

施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）

施策名： 児童福祉の推進

☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）

9
今後の方向性

(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）

☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止

【取組内容】

事業の周知及び認可保育施設利用者の把握に努める。

(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等

認可保育施設事業者との連携や周知用チラシの作成。